

---

第 16 報 平成 30 年 4 月 19 日

平成 28 年熊本地震 災害復旧資材供給情報

## 復旧・復興工事に関わる 建設資材等の需給動向



一般財団法人 経済調査会

---

平成 28 年熊本地震により被災されました方々に、心よりお見舞い申し上げますとともに、犠牲となられた方々のご遺族の皆様に対し、深くお悔やみ申し上げます。

熊本県内の復旧・復興工事に関わる主要建設資材等の価格及び供給情報について、平成 30 年 4 月 16 日までに収集した情報をもとに取りまとめましたので、お知らせいたします。

調査にご協力頂きました関係各位に感謝申し上げますとともに、当資材供給情報が被災地の復興に向けた一助となれば幸いです。

※災害復旧資材の供給情報提供窓口 <https://www.zai-keicho.or.jp/fukkyu/>

【問い合わせ先】

一般財団法人 経済調査会 土木第一部

TEL : 03-5777-8215 FAX : 03-5777-8230

## 【生コンクリート】

### （熊本地区）

熊本地区の3月の出荷量は7万4,363m<sup>3</sup>と前年同月比13%増。平成29年度の累計出荷量は76万5,090m<sup>3</sup>と前年比35%増（熊本県生コンクリート工業組合調べ）。元交通センター等の跡地再開発工事や緑川・白川両水系の震災復興護岸工事の本格化もあり、需要は堅調。一方、アジテーター車が不足しており、需給はややひっ迫している。

価格は、建築標準物21-18-20でm<sup>3</sup>当たり1万5,500円どころ。熊本地区生コン協組では、アジテーター車のチャーター料金の値上がりによる運搬コストの増加、人材確保に伴う人件費の増加、骨材の値上げ等をふまえ、平成29年4月以降の契約物件よりm<sup>3</sup>当たり1,000円の値上げを表明し、需要者と交渉に臨んでいる。小口物件では値上げが徐々に浸透しているが、大口物件については需要者側の抵抗もあり、交渉は長期化している。先行き、横ばいで推移する見通し。

### （阿蘇地区）

阿蘇地区の3月の出荷量は2万7,218m<sup>3</sup>と前年同月比27%増。平成29年度の累計出荷量は20万4,111m<sup>3</sup>と前年比65%増（熊本県生コンクリート工業組合調べ）。震災復興関連工事等が本格化したことにより出荷は大幅に増加している。それに伴い、アジテーター車が不足していることから、需給はややひっ迫している。今後も、国道57号線の復旧関連工事等の大型需要が控えており、さらなる需要増が見込まれている。

価格は、建築標準物21-18-20でm<sup>3</sup>当たり1万9,300円どころを横ばいで推移している。阿蘇地区生コン協組では、震災復興関連需要による出荷量の増加に対応するため、他地区からのアジテーター車のチャーターを増やすなど安定供給に努めている。先行き、横ばいで推移する見通し。

## 【再生クラッシュラン】

### （熊本地区・阿蘇地区）

熊本市内の中心部では民間の建築工事が中心のため需給は均衡しているが、益城、御船、阿蘇地区等では震災復興道路工事の需要が旺盛で需給はややひっ迫している。

価格は再生クラッシュラン40～0mmが熊本地区でm<sup>3</sup>当たり2,000円、阿蘇地区でm<sup>3</sup>当たり3,200円どころを横ばいで推移している。震災復興関連工事に伴う路盤材の需要増に伴い、輸送コストの一段高もみられているものの、メーカー各社は今のところ現行価格の維持に注力している。先行き、熊本地区、阿蘇地区とも横ばいで推移する見通し。

## 【アスファルト混合物】

### （熊本地区・阿蘇地区）

熊本県下の2月の出荷量は9万6,423tと前年同月比約24%の減少（日本アスファルト合材協会調べ）。熊本市内の需要は中心部においては減少傾向にあるが、益城、御船、阿蘇地区の需要は震災復興道路工事を中心に堅調である。

価格は再生密粒度(13)が熊本地区で前月比t当たり200円下落し11,000円どころ。阿蘇地区は前月と変わらず、12,200円どころ。熊本地区では出荷量が減少するなか、数量確保を優先した動きから価格競合がみられ下落となった。供給側は原材料価格が上昇しており、これ以上の価格対応は出来ないとして現行価格の維持に注力している。阿蘇地区では震災復興工事を中心に出荷は堅調。原材料価格が上昇しているものの、供給側は現行価格を維持するのが精いっぱい状況。先行き、熊本地区、阿蘇地区とも横ばい推移で推移する見通し。

熊本地震 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品（地場資材）

【平成30年4月16日 現在】

資材名 [掲載頁]	地区名	熊本地震以降の直近変動 (月号・額) ※2016年4月号 以降の変動		単位	価 格 (円)	前月比	現在の需給	先行き	
		需給	価格見通し						
生コンクリート 建築標準物 (21-18-20) [128]	熊本	—	(変動なし)	m3	15,500	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
	阿蘇	2017年 7月号	2,000円上伸	m3	19,300	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
コンクリート用 砂 荒目(洗い) [189]	熊本	2017年 12月号	250円上伸	m3	3,350	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
	阿蘇	2017年 12月号	200円上伸	m3	4,100	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
コンクリート用 砕石 20~5mm [189]	熊本	2018年 2月号	200円上伸	m3	3,400	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
	阿蘇	2018年 2月号	300円上伸	m3	3,900	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
再生 クラッシュラン 40~0mm [189]	熊本	—	(変動なし)	m3	2,000	変わらず	ややひっ迫	均衡	横ばい
	阿蘇	2018年 2月号	200円上伸	m3	3,200	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
アスファルト 混合物 再生密粒度 (13) [320]	熊本	2018年 5月号	200円下落	t	11,000	下落	均衡	均衡	横ばい
	阿蘇	—	(変動なし)	t	12,200	変わらず	均衡	ややひっ迫	横ばい

【特記】 需給動向は供給者側に確認し、直近1~2か月前と比較した結果である。

熊本地震 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品（一般資材）

【平成30年4月16日 現在】

資材名 [掲載頁]	地区名	市場動向・概況	現在の需給	先行き	
				需給	価格見通し
鋼材 異形棒鋼  [20]	熊本	マンション、商業施設向けの出荷が引き続き堅調に推移している。価格は、SD295A・D16で前月比と変わらず。原料の鉄屑価格に先安観が広がっているが、メーカー側の売り腰は依然として強い。当面、横ばい推移の公算大。	均衡	均衡	横ばい
型枠材 コンクリート型枠用合板  [217]	熊本	価格は、ラワン・無塗装品で前月比変わらず。産地側の原木不足による生産および出荷の遅れは続いており、依然として市中における品薄感は強い。需要面では、熊本市中心部の大規模再開発向けや民間建築へのお荷が続いていることから、しばらくは需要増が続くものとみられる。先行き、強含みで推移。	ややひっ迫	ややひっ迫	強含み

【特記】 需給動向は供給者側に確認し、直近1～2か月前と比較した結果である。

# 【主要資材の価格推移】





